



すすずらん



題字 小川 東州

JICA 社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6-1 ストークマンション札幌308号
TEL&FAX 011-736-2333 ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

第四回北海道支部通常総会が開催されました

7月1日(日)札幌サンプラザにおいて、本部より安藤副会長をお迎えし、「第四回日本産業カウンセラー協会北海道支部通常総会」が開催され、今回は懇親会を含め4部構成で進められました。

第1部、「開会」にあたり、安藤副会長と桑原支部長から、日頃の協会の活動への協力に対する感謝と、いま社会が産業カウンセラーに求める期待とそれにとまなう責任の重さについて触れられ、これから益々皆様の力が必要である旨の挨拶がありました。

第2部、「講演～これからの産業カウンセラーの活動と課題」では、6月1日の総会にて理事長から副会長に就任された安藤副会長にご講演いただきました。安藤副会長は協会の事務局長、理事長を経て現職へと、20年間協会の基礎作りから今日13支部、15000人の会員を抱えるまでに大きく成長させたリーダーです。協会の顔として長年、対外的な交渉から支部の指導まで多方面にわたり携わってこられました。現在の産業カウンセラー協会があるのも安藤副会長のお力によるものが多大です。現在も全国を飛び回り、各支部の現状を捉えられ、協会（本部）と支部が共に成長していくために力を注いで下さっています。今回の講演では、私たち産業カウンセラーがもつ社会的使命と現在行われている事業を通しての課題についてご教示いただきました。現在、産業カウンセラーにむけられる社会からの信頼を保持し、働く人々の援助をし続けること、そのためには私たち一人ひとり日常の活動や研鑽を通し努力し続けることが大切ではないかと課題の提示をいただきました。お話をお聞きし、これを支える支部の活動も更に必要だと改めて感じました。

第3部、「通常総会」では、まず進行役の十川会員研修部長より定数の確認が行われ、平成19年3月末の登録会員数291名のうち、総会出席者37名、委任状提出者140名の合計177名が出席となり、支部規程第16条に基づき、正会員数の過半数（146名）を超える出席が確認され、総会成立の報告がなされ、ひきつづき第37回通常総会（本部総会）



ご講演中の安藤一重副会長



議事進行の桑原支部長



熱心に討議されている総会の様子

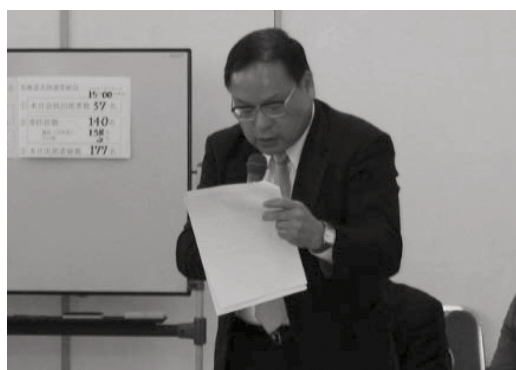
の報告がありました。

その後支部規程に基づき、議長に桑原支部長が就任し、議事録署名人として泉澤裕子さんと辻まゆみさんが指名されました。平成18年度の事業報告と収支決算報告（第37回通常総会で承認済みの内容）について、永井事業推進部長と柴田事務局長より説明があり、監査報告が行われました。

第1号議案では、平成19年度の支部方針と事業計画（案）および収支予算（案）が提示され、満場拍手にて承認となりました。

第2号議案では、「平成19・20年度役員改選」についても規程に基づき、桑原支部長より運営幹部9名、運営協議員10名、監事2名の報告があり、満場の拍手で承認されました。今年度で役員を退任される方々のご苦労に対する感謝の気持ちと、新体制においても引き続き会員の皆様の協力へのお願いが伝えられました。

最後にその他として、会員から「認定カウンセラーや認定講師の育成など、専門的な研修を通して積極的に取り組まれている事は評価に値する」「会員の個人個人が活躍できる場をもっと自由に提供できないものか」「広域に分散する会員がもっと参加しやすい工夫を」などの質問・ご意見がありました。これらに対し安藤副会長より「支部の事業だけでなく、会員の方々が所属する職場や組織の一員として、産業カウンセラーとしての学びやスキルを活かし、働きかけを行う事もとても大切な事です。そのためにも、日々研鑽を積み続けることは不可欠であり、援助する側とされる側、両方の助けになる。」旨の応答がありました。会員それぞれが社会のニーズや状況に関心を持ち関わっていくことの必要性を感じながら、予定していたプログラムが終了し、平成19年度北海道支部通常総会は閉会しました。



事業報告の永井事業推進部長

総会終了後、引き続きおこなわれた懇親会には安藤副会長にもご出席いただき25名の参加でお互いの近況報告や意見交換など、とても和やかな雰囲気ですすめられました。特に今回は平成17年度の養成講座受講者の参加が多くその連帯感の強さに、他の先輩年度の会員からは、「来年は私たちの同期が…」などという一幕もあり、人と人とのつながりが強くとても頼もしく、嬉しく感じました。



収支報告の柴田事務局長

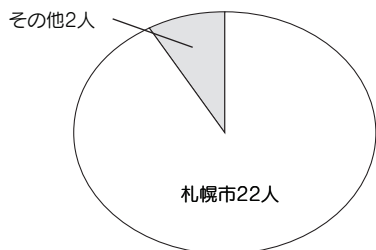
また安藤副会長をはじめ、北海道においても長年産業カウンセラーの普及と育成に携わっていらした方々のお話を聴き、そのご苦労の上に今日、社会的に信頼されている組織が成り立っているのだと強く感じ「信頼されている事のありがたさと大切にしていかなければならない責任」を感じました。とても短い時間でしたが、普段話す機会のない方々とお会いし、交流を持つことが大事だと思いました。毎年少しずつでも参加される会員が増えることで、支部の活動もより活発になっていくのでは…とも思いました。

なお、懇親会の前に回収させていただいたアンケートの結果は次頁のようになっております。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。皆様の声を反映した支部運営のために十分活かしていきたいと思っております。ぜひ来年はもっと多くの会員に参加いただき、多くの声を反映した総会になれば、と期待しております。

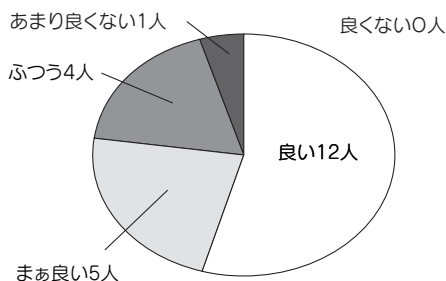
支部総会アンケート集計

平成19年7月1日開催（出席37 回収24）

1. お住まいについて

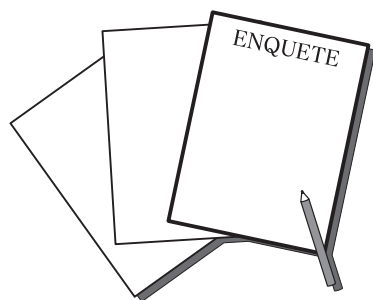


2. 通常総会の内容・進行について

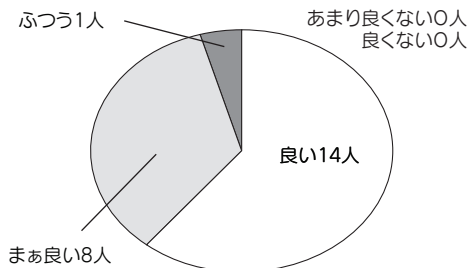


※理由（要望）

- ・総会だけでなく、協会安藤副会長の話が聴けたのは良かった。
- ・事業計画案について一つずつの活動を詳しく説明があっても良かったと思う。
- ・決算報告はもう少し詳細に説明すべきではないか。



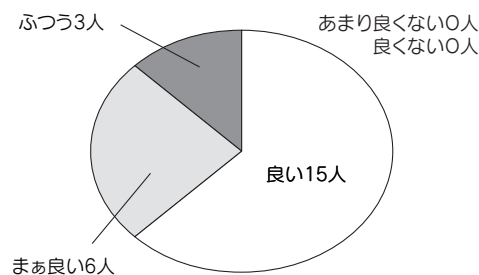
3. 平成18年度事業の取組状況について



※理由（要望）

- ・シニアコース講座を増やして欲しい。

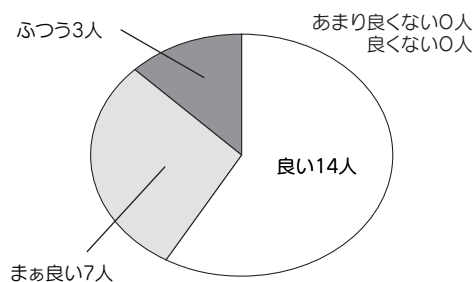
4. 平成19年度支部方針(案)について



※理由（要望）

- ・とくになし。

5. 平成19年度事業計画(案)について



※理由（要望）

- ・シニアコース講座が少ない。

6. ご自身の支部活動への参加について、どのようにお考えですか

- ・可能な限り積極的に参加していく考えです。
- ・自分で出来る範囲で活動への参加をしていくつもりです。
- ・仕事のスケジュールが空いている時に、自分の力・能力がお役に立てるのであればお手伝いさせていただきたいと思えます。
- ・自己研鑽のため、できるかぎり参加したいと思っている。
- ・機会があれば是非参加したい。
- ・出来るだけ参加したいと考えています。
- ・一般研修会にでて学習したい。

7. 今後、支部として取り組むべき課題など、何でも自由にお書きください

- ・支部の活動状況等、現状について情報をオープンにし、透明にしていきたい。
- ・カウンセラーのレベルアップは今後も取り組む課題であると思う。
- ・相談事業部のバックアップ体制を強化して欲しい。
- ・日本型EAPの協会版プログラムには大変興味があるので、支部の作業でお手伝いできる事があれば協力したい。
- ・会報「すずらん」でよく状況がわかり嬉しい。
- ・研修がたくさん開催されることをお願いします。

新役員の紹介(運営幹部&運営協議員)

◎運営幹部

- ・桑原富美恵(支部長 **再**)
- ・永井 義信(副支部長兼事業推進部長 **再**)
- ・柴田 治彦(事務局長 **再**)
- ・山村 弘美(養成講座部長 **再**)
- ・二俣 美幸(養成講座副部長 **再**)
- ・清水 良子(相談事業部長兼事業推進部副部長 **新**)
- ・青木 明美(相談事業副部長 **新**)
- ・佐久間千雅(会員研修部長 **新**)
- ・赤川 素子(広報部長 **新**)

◎運営協議員

- ・斎藤 真一 **新**
- ・佐藤 直美 **再**
- ・伊藤 恵子 **新**
- ・井澤 敦子 **再**
- ・十川 秀逸 **再**
- ・宮本 克郎 **新**
- ・時政 佳奈 **新**
- ・寺西 良夫 **新**
- ・高田 明子 **新**
- ・和泉 光則 **新**

◎監 事

- ・大嶋 弘道 **再**
- ・安井 元美 **新**

各 部 員 募 集 の お 知 ら せ

新年度が始まり、7月7日に行われた幹部会で各部の部長などが決まりました。いよいよ新体制での活動が本格的に動き始めたところです。

つきましては別紙の通り、各部の部員を募集いたします。支部活動に興味のある方はもちろん、総会アンケートにもありましたように、「何か自分の出来る範囲で協力してみたい」と思っ
ていらっしゃるあなた、是非ご応募ください。

今回は「会員研修部」と「広報部」の募集になります。会員向け研修の企画や運営、すずらの企画・発行(原稿作成)やその他企画など、得意な分野、興味のある分野で私達と一緒に支部活動を盛り上げていきませんか?

多くの会員の皆さまのご応募をお待ちしております!(詳細及び申込書は同封したものをご覧ください。)

新しい運営幹部からのごあいさつ

.....相談事業副部長 青木明美

このたび、相談事業部のお手伝いをさせていただくことになりました。わからないことばかりなので、皆さんにご迷惑をおかけしてしまうことも多々あるかと存じますが、そこはなにとぞよろしく願い申し上げます。皆さんのお力をお借りしながら、相談事業部を盛り立てて行きたいと思っております。また皆さんのたくさんの声から物事が創られていく楽しさも、一緒に実感して行きたいです。広さと深さのバランスを考えながら、じっくり歩んでいきたい。かめ速度の私ですが、よろしく願いいたします。

.....相談事業部長兼事業推進部副部長 清水良子

このたびの役員改選に伴い相談事業と事業推進を担当させていただくことになりました。私自身も成長しながら、前任者がこれまで築いてきた土台を基に、より多くの地域のお客様の要望に応えられる事業部を皆さんと共に築いていきたいと考えております。忙しい中にも心に余裕をもって仕事をしたいと思う今日この頃です。これから2年間どうぞ宜しくお願いいたします。

.....広報部長 赤川素子

今期、広報部部長として仕事をさせて頂く事となりました。

広報部の主な仕事としましては北海道支部の機関誌「すずらん」の発行とホームページの運営となります。会員の皆様と北海道支部とを結ぶ架け橋として協会をより一層近くに感じて頂けるような物にしていけたらと思っております。こんな事を取り上げて欲しいとか、こんな事がよく解らない等ありましたら遠慮なくご意見をお寄せ頂きたいと思えます。解らない事だらけで手探り状態でのスタートですが沢山の皆様のご指導ご協力を頂きながら頑張っていこうと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。

.....会員研修部長 佐久間千雅

今期より会員研修部を担当させて頂くことになりました。すずらん5月号掲載の「支部育成システム（ロードマップ）」をご覧になり、これから自分はどの様な方向に進もうかと思案されている方も多いのではと思います。また、既にカウンセラーとして活躍されている方々は、継続的な自己研鑽の重要性を日々感じていらっしゃるかと思います。会員研修が各々の方向性を掴むきっかけとなり、また自己研鑽・情報交換の場として、より身近な存在であれたらと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

.....

レディネス通信

平成19年度北海道支部認定カウンセラー育成研修、通称「レディネス19」。

4月より11月まで月1回の割合いで研修が開催され、8月には中間審査と12月には最終審査が行われます。現在その審査を目指し今年は14名がチャレンジしています。

認定カウンセラーになりたい、自分のスキルを磨きたい、自らの勉強の為、など受講理由はそれぞれですが、そんな14名の方の素直な感想意見を交えながら「どういう勉強をするのかな」「興味はあるけど難しそうで私なんか..」そんな風に考えてる方々のご参考になればと【レディネス通信】として連載させて頂く事となりました。どうぞお楽しみに。

今回の記念すべき1回目は宮本克郎さんです。

宮本克郎

.....

受講生は14名で研修は月1回の計7回。3回受講した感想は北星学園大学の清水信介先生と臨床心理士の篠原由紀子先生の指導のもと1テキストの輪読 2 逐語記録です。前者は受講生が交代でテキスト「心理療法入門」のレポーターを務める。産業カウンセラーと臨床心理士の見解を比較出来大変参考になります。後者の逐語記録については15分で実践で役に立ちます。知識・資格は大切だが、実務・経験が伴わなければ通用しないと思っており、実践を身につけるよい機会が月1回の研修会を楽しみにしています。

支部幹部会・運営協議会開催のようす

◎第4回 幹部会（7月7日）

※新メンバーを加えて、最初の幹部会でした。

主な討議事項.....平成19年度支部体制について（役割分担）
会員登録システム導入に向けての準備状況
各部から進捗状況の報告、他

◎新メンバーでの運営協議会は、8月19日開催致します。

いい汗かいてますか？



夏本場!と言うにはまだ気温が安定してはいませんが、いかがお過ごしですか？

巷では、夏に向けてアメリカの軍隊式ダイエットが大ブームを巻き起こしていますね。

かなりハードな運動のようで、汗もたくさん出そうです。

その汗に、「いい汗」と「悪い汗」があるとテレビで放送していました。ご存知でしたか？

いい汗は…体温を上手に下げ、さらっとしていて、塩分濃度が低い。

悪い汗は…体温がなかなか下がらず、ベタベタしていて塩分濃度が高めだそうです。

熱中症にご注意!と耳にしますが、暑さで汗をたくさんかくと足が「つる」という症状がでるそうです。これも熱中症の症状の1つというから驚きですね。

汗をかいたら「水分補給」があたりまえと思っていましたが、もし私たちが「悪い汗」をかいているとしたら「水」をいくら補給しても「尿」として排泄されて体内の脱水症状は回復しないそうです。ポイントは「塩分濃度」。血液中の水分・塩分量はきめられているので、「水分と塩分」を両方とも補うこと。水1リットルに塩2グラムが理想のようです。今は水も様々な種類を買う時代ですよ。自分の身体に必要な水をしっかり補給して、この夏を乗り切りたいですね。

私はよく寝汗をかきます。ひどいときにはシャワーを浴びた後のような髪になるほど頭から汗をかいてしまうのですが、これがいい汗なのかかなり不安になってきました。

身体をうごかして「いい汗」かいて、パワー全開でいきましょう!!

◆学会・関連団体の情報コーナー◆

◎中央労働災害防止協会

—THP指導者のための—

「実務向上研修Bコースのご案内」

日 程：平成19年10月19日(金) 9:30～17:00

場 所：中災防 北海道安全衛生サービスセンター（札幌市中央区南19条西9丁目2-25）

内 容：メタボリックシンドロームを考える

行動変容につなげる健康指導スキルアップの実際

取得単位：THP 指導者登録更新単位 6 単位

参 加 料：中災防（賛助）会員事業場 18,000 円

問合せ先・申込み先：中災防 北海道安全衛生サービスセンター（電話 011-512-2031）

行事等のお知らせ

研 修

シニアコース講座

「面接記録の取り方・事例の書き方・見立て」(M1210)

日 時：9月1日(土)
場 所：かでの2.7
講 師：中台英子(当協会スーパーバイザー)
定 員：30名
受講費用：13,000円
申込締切：8月24日

「逐語記録検討1」(M1710)

日 時：9月15日(土)～16日(日)
場 所：かでの2.7
講 師：未定
定 員：20名
受講費用：26,000円
申込締切：9月7日

「認知行動療法」(K0121)

日 時：10月7日(日)
場 所：かでの2.7
講 師：坂野雄二(北海道医療大学教授)
定 員：30名
受講費用：13,000円
申込締切：9月28日(金)

※すずらん3月号にて11月17日とお知らせ致しましたが、上記の日程に変更されましたのでご注意ください。

会員研修 (一般研修)

「カウンセリングにおける見立て」(4回シリーズ)

第3回 昔話とカウンセリング (III)

日 時：9月17日(月・祝) 18:30～20:30
場 所：かでの2.7
講 師：清水信介(北星学園大学教授)
定 員：40名
受講費用：会 員：1,000円
申込締切：9月7日(金)

会員研修 (特別研修)

「認知行動療法療法 (概論) 釧路市」

日 時：9月30日(日) 9:00～12:00
場 所：エスカル釧路 釧路市幸町13-2-5
講 師：坂野雄二(北海道医療大学教授)
定 員：20名
受講費用：会 員：2,000円
非会員：3,000円
申込締切：9月20日(木)

「認知行動療法療法 (概論) 函館市」

日 時：10月28日(日) 9:00～12:00
場 所：函館パークホテル 函館市新川町29-15
講 師：坂野雄二(北海道医療大学教授)
定 員：20名
受講費用：会 員：2,000円
非会員：3,000円
申込締切：10月18日(木)

※釧路地区・函館地区在住の会員の皆さまへ～
地方開催の研修についてご協力をお願い致します。お手伝いいただける方は事務局までお知らせ下さい。

幹部会&運営協議会

幹部会

日 時：8月19日(日) 10:00～
場 所：支部事務所

運営協議会

日 時：8月19日(日) 14:00～
場 所：支部事務所

編 集 後 記

役員改選にともない、広報の担当も変更することとなりました。まだまだ改善すべき点もあったと思いますが、毎号楽しみにして下さる会員の皆様へ滞ることなく発行してこれたのも偏に皆様のご協力の賜と感謝しております。次号から新メンバーでお届けする「すずらん」へも引き続きご協力とご愛読をお願い申し上げます。皆様、本当にありがとうございます。ございました。

(M・F)